KAKUDAI

セクター上部

104-015
104-016

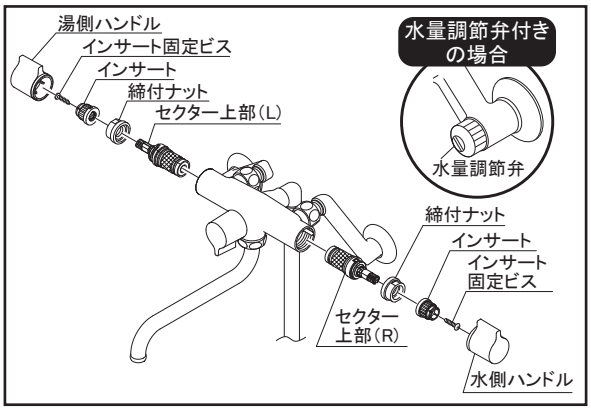
施工説明書

施工前に必ずお読みください。

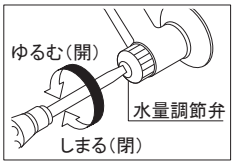
お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

取付方法

＊取付けの際は、混合栓に付属の取扱説明書および施工説明書を合わせて参照してください。



1. 湯・水側の水量調節弁を閉めて止水します。



湯・水側両方の水量調節弁を「マイナスドライバー」などで右方向にまわして止水します。

＊この時、水量調節弁が何周まわって止まったのかを覚えておいてください。

＊水量調節弁がない混合栓の場合は、止水栓または元栓を閉めて止水してください。

⚠ 注意　湯・水ハンドルを吐水状態にしても水栓から水が出ないかを確認してください。止水不良により水が漏れ、家財に損害を与える恐れがあります。

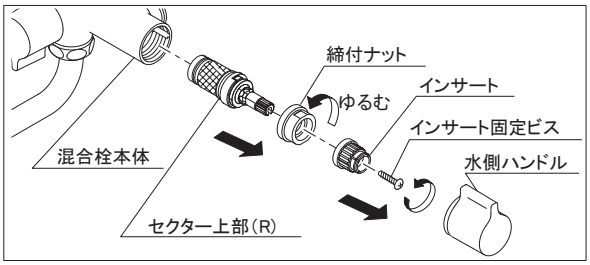
2. 混合栓本体をクランクから取外します。

「レンチ」などでクランクナットをゆるめて、混合栓本体とクランクパッキンをクランクから取外します。

＊取外したクランクパッキンは後で使用しますので、なくさないようにご注意ください。

⚠ 注意
- 混合栓本体は重量があります。落下などに十分注意して作業を行ってください。
- 混合栓本体を取外す際は、クランクが絶対にゆるまないようにしっかりと固定して作業を行ってください。

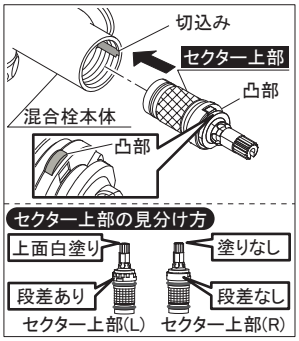
3. 古いセクター上部を取外します。



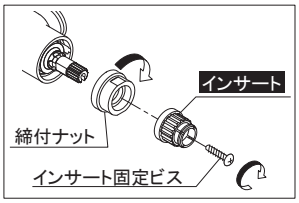
①湯・水ハンドルを抜取ります。
②「プラスドライバー」でインサート固定ビスをゆるめて、インサートを取外します。
③締付ナットを「レンチ」などで取外します。
④古いセクター上部を「プライヤー」などで抜取ります。

取付方法(つづき)

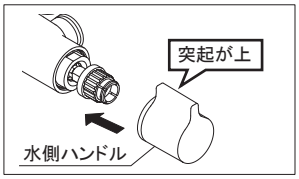
4. 新しいセクター上部を取付けます。



①混合栓本体の切込みに新しいセクター上部の凸部を合わせて、奥までしっかり押込みます。



②締付ナットを「レンチ」などで締付けます。
③新しいインサートを差込み、「プラスドライバー」で新しいインサート固定ビスを取付けます。
取付後、セクター上部(R)の場合は時計まわりに、セクター上部(L)の場合は反時計まわりにまわしてください。



④湯・水ハンドルの突起が上を向くようにハンドルをはめ込みます。

⚠ 注意
- セクター上部を交換する際は、混合栓本体をしっかりと支え、軍手・あて布などを使用して作業を行ってください。手などにケガをする恐れがあります。
- 締付ナットは十分に締付けてください。施工不良によりセクター上部が正常に機能しない恐れがあります。
- セクター上部は絶対に分解しないでください。故障の原因となります。

5. 混合栓本体をクランクに取付けます。

①クランクに2.で取外したクランクパッキンをはめ込み、混合栓本体を取付けます。
②「レンチ」などでクランクナットを均等に締付けて混合栓本体を固定します。

⚠ 注意
- 混合栓本体は重量があります。落下などに十分注意して作業を行ってください。
- 混合栓本体を取付ける際は、クランクが絶対にゆるまないようにしっかりと固定して作業を行ってください。

6. 湯・水側の水量調節弁を開きます。

①湯・水ハンドルを止水状態にしてから、湯・水側両方の水量調節弁を「マイナスドライバー」などで1.でまわした回数だけ左方向にまわして開き、各部に水もれがないかを確認します。

＊水量調節弁がないタイプの混合栓の場合は、止水栓または元栓を開いてください。

②湯・水ハンドルをまわし、吐水および止水ができるかを確認します。

＊正常に吐水・止水ができない場合は、セクター上部を施工し直してください。

＊水もれが発見された場合は、水量調節弁を閉めて水もれする箇所を施工し直してください。

⚠ 注意　水量調節弁を開く際は、湯・水ハンドルが止水状態であることを確認してください。止水不良により水が漏れ、家財に損害を与える恐れがあります。

●水と住まいの接点
株式会社カクダイ
本社　〒550-0012　大阪市西区立売堀1－4－4　☎(06)6538-1124

0514**
M-C0116

無断転載・複写を禁ず